



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	北海道大学附属図書館報「榆蔭」150号
Citation	北海道大学附属図書館報「榆蔭」, 150
Issue Date	2014-10-01
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/66216
Type	journal
File Information	yuin150.pdf



楡蔭

【yu-in】

図書館ではじめよう

グローバルな私

(左から)

島倉 綾乃 さん<獣医学部/北海道大学英語研究会(ESS)所属>

久保 まりな さん<法学部/TFT-HOKKAIDO、

日韓ユースフォーラム(JCK)学生運営事務局北海道支部所属>

北海道大学英語研究会(ESS)

北大公認英会話サークルのESSです。私たちは週2回(月・水)の英会話と大会(スピーチ・ディスカッション・ディベート・ドラマ)を通して英語力を高めあっています。合宿等もあって楽しいサークルです。興味があれば以下のアドレスまでご連絡ください。

hokudaieess.2014@gmail.com



TFT-HOKKAIDO

先進国の肥満と途上国(アフリカ)の飢餓を同時に解決できるTFTのシステムを北海道に広めることを目的に、様々な楽しい方法で活動を行っています!所属学生は100人以上。誰にでもできる国際協力活動に、あなたも参加してみませんか?興味を持った方は、tft.hokkaido@gmail.comまでお気軽にどうぞ!



表紙のモデルを募集します!

友達や研究室、部活・サークルの仲間と一緒に北大図書館報「楡蔭」に登場してみませんか?

申込み・お問い合わせは4ページ目に記載の連絡先まで

2014.10

No.150

北海道大学附属図書館報



図書館ではじめよう、グローバルな私

今号の楡蔭では、世界に目を向けて活躍している学生に、その活動と図書館の活用法について伺いました。

世界へ一歩踏み出すためにはどうしたらいいのか、そのヒントをお2人の話から探してみましょう！

スタッフ

×
学 生
座 談 会

北大生

世界へ羽ばたけ！

参加メンバー

島倉 綾乃さん

獣医学部3年。
フィジーに留学経験があり、日々英語でのコミュニケーション能力をESSで磨いている。

久保まりなさん

法学部4年。
シンポジウムの参加や短期留学など、国際経験が豊富。9月からインドに留学中。



城 恭子

附属図書館調査支援担当。
調べ物などの相談受付のほか、EU情報センターや国連寄託図書館に関連するイベントを担当。

城) まず、お2人の活動について教えてくださいいただけますか？

久保) 2013年に北海道で開催された第4回の日中韓ユースフォーラム(以下、JCK)で、学生運営事務局の北海道支部代表を務めました。JCKというのは、日本、中国、韓国の3カ国の大学生が模擬国連やシンポジウムを通じて相互理解や知的交流をすることを旨とするものです。もともと大きなイベントを動かしてみたいという気持ちがあり、参加しました。

城) 模擬国連というのはどういうものですか？

久保) 実際に行われた国連の会議を各国の大使になりきってやってみるんです。若者目線で議論するので、実際とは違う新しいアイデアが出てくるんですよ。国際問題を解決する難しさも体感できます。

島倉) 私は北海道大学英語研究会(以

お二人の活動について



下、ESS)で活動しています。普段はチャットングといって、英語で2時間くらいの会話をしています。身近なテーマから、環境問題のような日本語でも話すのが少し難しいテーマも話題にしているんです。また、他大学のESSサークルとの大会では、英語でディベートやディスカッションをしています。

城) もともと英語が好きだったんですか？

島倉) はい。英語をコミュニケーションのツールとして使えるようになりたいと思っていましたが、英語で話す機会がなかなかなくて、それをどうにかしたいなと思ったのが、ESSに入ったきっかけです。



城) 話は変わって、お2人にとって図書館ってどんなイメージですか？

久保) うーん、本を借りて返すところ？

島倉) 主に勉強するために使うところ、という感じです。

城) そうですね。そういったイメージに留まらず、図書館ではいろいろな形で学生さんをサポートしたいと思っています。例えばレファレンス*4というサービスや、雑誌や論文の探し方、電子ブックの使い方のセミナーなども開いています。また、今いるオープンエリアは、机も椅子も自由に動かせるディスカッションもOKなので、グループ学習にも活用してほしいですね。

ました。大学のプログラムなどを活用して、また留学したいと思っています。

久保) 私も、英語で喋らないといけない環境に置かれることで格段にレベルアップしたと思っています。今では自分の意思を伝えられるし、社会的な問題にも意見を言えるようになりましたね。

城) 留学を通して英語力がぐっと伸びることを実感されたんですね！実は図書館にも、英語力を伸ばすのに役立つものがいろいろあるんです。語学自習室*2って、使ったことはありますか？

久保) 結構使っていました！

城) そうですか！TOEICやTOEFLの対策本もあるんですよ。これから英語に再挑戦したいという方には英語多読マラソン*3もおすすすめです。

久保) リーディング力を上げるためのものですね？

城) そうなんです。こういう取り組みやすいところから始めるのもいいですね。



達成認定証

多読マラソン

検索

*3 英語多読マラソン

英語多読コーナーの本を読み、語数を記録して100万語を目指します。参加登録はWebでも可能。100万語達成者には「達成認定証」を贈呈します。詳細はホームページにて。

城) なるほど。では、お2人が活動を通して学んだことって、どんなことでしょうか？

久保) 私はリーダーとして活動したんですが、リーダーという、指示を出して仕切って引っ張っていくというイメージだと思うんです。私も最初はそう考えていて、みんなへの遠慮もあって、仕事や情報をうまく割り振ることができなかったんです。そうしたらメンバーの責任感や帰属感が希薄になってしまい…。そこで考え方をえて、情報を逐一共有するようにしたら、次にやることをみ



活動を通して身についたこと

んなが自分で予測して行動するムードがうまれ、スムーズに活動できるようになったんです。この経験を通して、リーダーシップの本質って、みんなでやろう、っていう空気を創ることなんだと学びましたね。

島倉) 論理的思考が身についたかなと思っています。ディベートやディスカッションではリサーチしたことを論理的に組み立てて説得しないといけないんですが、経験を重ねることで身につけてきたかな。最初は英語を話すことに抵抗があったんですが、そのハードルも段々低くなりました。それと、リサーチを重ねる中で国際的な問題への関心も強くなりました。獣医学部にいることもあり、途上国で人獣共通感染症の研究に携わるなど、英語を活かせる仕事に就けたらと思っています。

城) お2人とも、授業だけでは得られないことをたくさん学んでいるんですね！

島倉) グループ学習室で勉強会をしたことはあるんですが、オープンエリアも便利ですね。コピーもすぐとれるし、PCでの調べ物もその場でできるし。他のグループの勉強しているところが見えるのも刺激になりますよね。

城) 勉強会では、データベース*5を使って情報収集するのもおすすめです。データベースは、リモートアクセス*6 サービスを使えば学外からでも利用できるんです。

久保) えっ、そうなんですか？便利！今まで使わなかったの、もったいなかったなあ。

城) 新聞のデータベースなど、リモートアクセスできるものは色々あります。インターネットが繋がれば海外からでもアクセスできてとても便利です！

久保) そういえば、最近図書館ではいろんな展示もやっていますよね。ああ、すごいです。

城) 図書館が企画するものの他にも、サークルや図書館学生サポーターの展示などが行われたりと、図書館は学生

さんが学んだ成果をアウトプットするような場所にも変わりつつあるんですよ。今年も開催するSTAND UP TAKE ACTION in Hokudai*7 というイベントでは、学生さんにもプレゼンターとして参加していただいています。久保さんには去年、JCKの活動を発表していただきましたよね。いかがでしたか？

久保) 思ったよりも多くの方が聞きに来てくださって、嬉しかったです！取り組みを周りの人に知らせることもJCKの目的の1つなので、あーいった形で達成できてよかったです。

城) 今年のSTAND UPでは、食や農業を通してサステナブルな未来を考えようということで、農学部で北大マルシェを運営されている先生と学生さんに発表していただく予定です。他の学生がどんな活動をしているのかを知って、刺激を得てもらえたらと思っています。

島倉) いろんなイベントをやっているんですね。図書館のイメージが変わりました。

*4 レファレンス

調べ物の相談は、総合カウンターの向かって左側、「参考調査」カウンターへどうぞ。平日は毎日1時間、オープンエリアのインフォメーションデスクにも出張しています。オンライン窓口「Ask Library Staff」からも受け付けています。

*5 データベース



北大では100以上のデータベースをご利用いただけます。例えば「LexisNexis」はニュースだけでなく、海外の法律情報・医療情報など、幅広い分野の情報が収録されています。また「Japan Knowledge」は日本の事典・辞書、叢書や四季報、雑誌記事やコラム等、様々な情報が集約され、それらを横断的に検索することができます。

*6 リモートアクセス



R リモートアクセスができるものはこのマークがついています

北大構成員であればどこでもご利用いただけます。ほとんどの電子ジャーナル、電子ブック、データベースが学外から利用できます。最初に専用ページよりログインしてお使いください。

*7 STAND UP TAKE ACTION in Hokudai



貧困解決と国連の「ミレニアム開発目標」達成のために「立ち上がる」世界的なキャンペーンの北大版。今年の開催は10/8(水)！あなたの参加が世界を動かす力になります。

城) 最後に、北大生のみなさんへメッセージをお願いします！

久保) 学生の今でしか得られないチャンスをぜひ活用してください！留学するにしても、大きなイベントの運営に関わるにしても、北大生だからこそ利用できるものや人のつながりって、絶対たくさんあると思うんです。卒業してから後悔しないように、今しかない機会をもっと活かしていけたらいいですね。

島倉) 大学生活って、自由に時間を使える期間だったり、失敗してもある程度は許される期間だったりと思うんです。

それに、自分には無理になって思えることでも、やってみたら意外とできた！ということもあると思うので、私自身もですが、やりたいことをあきらめず、いろいろなことに挑戦してほしいです！

城) ぜひ図書館を学びのベースキャンプとしてフルに使って、世界に向かってチャレンジしていただきたいですね。今日はありがとうございました！

(8月1日 附属図書館本館2階オープンエリアにて)



*1 留学



留学を考えるあなたにオススメの本をご紹介します

「Trans Japan」(北大留学応援プロジェクト編) 北大生の留学体験記を綴ったものです。2011年版まで発行されています。様々な国へ飛び出した先輩方の声に耳を傾けてみてください。留学における注意事項など、ためになる情報満載です。

*2 語学自習室

声を出して語学の勉強ができるスペースです。各ブースにはモニターとDVDなどの再生機器が置かれています。教材としてNHKラジオや各国語のテキストも揃っていますよ。



コーケツ直也のつげき!!


 今回は… 国際本部

このコーナーは図書館スタッフのコーケツ直也が気になる「あの人」を突撃取材して図書館で役立つ情報を聞き出すコーナーです。今回は国際本部に突撃し、グローバルな舞台で活躍するためにはどうしたらよいか、お話を聞いてきました。



みなさんこんにちは!今回の楡蔭は「図書館ではじめよう、グローバルな私」がテーマということで、国際本部にやってきました。北図書館の南側にある新しい建物です。

今回は、ファースト・ステップ・プログラム(FSP)といった、学生の短期派遣プログラムを担当されている正木幹生先生にお話を伺いました。

コーケツ) さっそくですが、FSPとはどういったものなのですか?

正木) 一般教育演習(フレッシュマンセミナー)のひとつ「グローバル・キャリア・デザイン」として開講している授業で、学生が今後様々な海外プログラムに挑戦するための最初の一步となることを目的とした取り組みです。FSPでは、2週間、協定校のある国を訪問して、協定校での授業参加やプレゼンテーション、学生交流、企業や研究所などを訪問し、実際に海外で活躍している方々の業務やキャリアについてお話を伺ったりします。

このような海外研修に加えて、出発前の事前研修や、帰国後に現地で何を学べたかについての振り返りも行っています。そこから、今後自分は在学中にどのように行動するのか、アクションプランを練ってもらう。国際本部ではそういったところまでサポートしています。

コーケツ) ただ海外に行くだけではないのですか?

先生ご自身も様々な国際機関で勤務された経験がありますよね。そういったご経験から、これから海外へ行こうとしている学生さんたちへ、何かアドバイスををお願いします。



正木) まずは現地に行ってみる、ということに尽きると思います。知識として頭でわかっていることと、現地で実際に体験することは、やはり違います。考えるだけではなく、まず行動してみることですね。

とはいえ、予備知識も大切です。その国の最新情報や、歴史、文化といった背景もあらかじめ押さえておきましょう。そして、できれば1回だけでなく複数回行ってみたいですね。色々な現場を見て、自分がどういう道に進みたいのか考えてみましょう。FSPをきっかけとして、第2、第3のステップへと繋げてもらえたらと思います。

コーケツ) なるほど。FSPはまさに「最初の一步」なんですね。

図書館ではこれまで「STAND UP」や「世界で働く講演会」といったイベントを通じて、国際本部と連携させていただいています。今後は、どういったところで連携していけるでしょうか?



正木) 国際本部には留学生はよく来てくれるのですが、それだけではなく日本人学生の利用をもっと促進したいと考えています。その点、人が集まる「場」としての図書館は強みではないかと思っています。また、FSPの事前学習の際には、図書館にある資料が役に立っているのではないかと思います。

コーケツ) そうですね。図書館には国連関係の資料や、色々な国の歴史、文化が学べるような資料がたくさんあります。ぜひ活用していただきたいですね。

また、国際交流サークル「SACLA」が主催して国際本部で行っている「インターナショナル・ランチ」といった留学生との交流イベントなども、図書館でやってもらえたらおもしろいかも、と思いました。お互い、学生にとって交流の場となれたらいいですね。

最後になりましたが、学生さんへのメッセージをお願いします。

正木) まずは現地に行ってみましょう!国際本部では、そのための様々なサポートを行っています。気軽に相談に来てください。



国際教務課のカウンターでは留学に関するパンフレットを配布しています

 附属図書館からのお知らせ

10月~12月のイベントスケジュール

各イベントの詳細や最新情報は、北大図書館ホームページやFacebook、ポスターやチラシ等で随時お知らせします。

日程	時刻	イベント名	会場	イベント	展示
開催中 ~ 10/ 3 (金)	12:00-17:00 (本の展示は開館時間中)	少年よ、学部を選べ!2014	ピア・サポート室、北図書館	★	☆
開催中 ~ 10/17 (金)	開館時間中	STAND UP TAKE ACTION in Hokudai パネル展示 「食と農から考えるサステナビリティ」	本館 玄関ロビー		☆
開催中 ~ 10/31 (金)	開館時間中	おしよ丸展	本館 メディアコート		☆
10/ 1 (水) ~ 11/30 (日)	開館時間中	「エルムの森」の青春—北大生の群像1876~1949 IV. 「エルムの森」キャンパスを舞台に	北図書館 2階入館ゲート前		☆
10/ 1 (水) ~ 12/25 (木)	開館時間中	北方資料からみる「江戸・蝦夷・ロシア」交流展 第2期:高田屋嘉兵衛とゴロヴニーン捕虜事件	本館 玄関ロビー、 2階オープンエリア		☆
10/ 8 (水)	18:30-19:30	STAND UP TAKE ACTION in Hokudai	本館 メディアコート	★	
10/20 (月) ~ 10/26 (日)	開館時間中	オープンアクセスウィーク	本館 ほか	★	
10/20 (月) ~ 11/ 3 (祝)	開館時間中	学術成果のオープンアクセスとHUSCAP	本館 玄関ロビー		☆
10/21 (火) ~ 11/ 6 (木)	開館時間中	「本は脳を育てる」秋の展示	北図書館		☆
12/ 1 (月) ~ 12/30 (金)	開館時間中	「エルムの森」の青春—北大生の群像1876~1949 V. 北大生の戦争、そして新しい時代へ	北図書館 2階入館ゲート前		☆



公式Facebookページでは、ホームページと併せて
図書館の最新情報をお届けしています。ぜひご覧ください。
<https://www.facebook.com/hokudailibrary>



【編集・発行】



北海道大学附属図書館

〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目

Tel: 011-706-2967

E-mail: shomu2@lib.hokudai.ac.jp

<http://www.lib.hokudai.ac.jp/>